



最優秀賞の表彰を受ける小原主任林業普及指導員

林業普及現地情報
2025-18号（通算550号）
令和7年12月25日
林業技術センター普及班
記述者 宮本雅子

令和7年度林業普及指導員 北海道・東北ブロックシンポジウム ～沿岸局小原主任林普が最優秀賞を受賞！～

1 はじめに

林業普及指導員シンポジウムは、林業普及指導員同士が互いに研鑽し、全国各地における現状や課題を共有して今後の林業普及指導活動につなげることを目的に毎年開催されています。

令和7年2月に開催された岩手県ブロックシンポジウムでは、県内4ブロックの代表者が令和7年度の全国テーマである「森林資源の適正な管理・利用に向けた市町村支援の取組」について発表があり、沿岸ブロック発表者の小原主任林業普及指導員の発表が県代表に選ばれ、8月28日に開催された北海道・東北ブロックシンポジウムにおいて発表を行いました。きめ細やかな取組が評価され、みごと最優秀賞を受賞し、北海道・東北ブロックの代表となりましたので、その発表概要をご紹介します。

2 岩手県釜石地域における森林経営管理制度の取組支援について

（1）取組内容

ア 森林経営管理制度の円滑な運用支援

・令和4年度から、沿岸の4現地機関合同で沿岸地区森林経営管理制度ワークショップを開催し、各市町村の進捗状況を踏まえた情報交換、意見交換を実施した。

・効率的な業務の推進や新たな技術・知識の習得に資する話題をテーマとした市町職員のスキルアップ勉強会を開催した。（ドローン等のデジタル技術（R6）、GNSS操作（R6）、林建協働に向けた担い手確保（R5）、盛土規制法

（R7））

・管内の釜石市、大槌町の進捗状況や課題等を踏まえて、個別支援を実施した。（釜石地方森林整備推進協議会の設立支援（R2）、意向調査の進め方の検討支援（R2～）、地域住民説明会への同行（R2）、集積計画・配分計画準備の支援（R3～）、森林境界明確化に係る補助事業導入支援（R6））

イ 譲与税による市町村事業の展開支援

今後策定する事業計画を、より効率的に森林整備が行えるものにするため、釜石市、森林組合と県で意見交換し、現状や今後の課題等について共有を図った。

（2）管内市町の成果

ア 意向調査

令和2年度からは、両市町とも複数の地区に分けて意向調査を実施している。

イ 集積計画及び配分計画の策定等

令和4年度からは、意向調査を実施した地区で順次集積計画を策定し、当該森林では市町の森林経営管理事業で順次間伐が進められているほか、釜石市では配分計画も策定している。

ウ 森林境界の明確化

大槌町では、令和7年度から航空レーザ測量による森林境界明確化に向けた取組を始め、国土調査未了のため意向調査未着手の区域においても調査が進むことが期待されている。